

桜島・錦江湾ジオパーク構想

「桜島・錦江湾ジオパーク構想」とは

◆桜島・錦江湾ジオパークを目指す目的・理由、ジオパークのエリア・概要（特徴）及びテーマやストーリーなどの基本的方向を示すもの

1 ジオパークを目指す背景

鹿児島においては、桜島の噴火活動が活発化している中、霧島錦江湾国立公園の誕生、IAVCEI2013の開催、大正噴火100周年と続いており、東日本大震災以降、全国的に高まる地球の活動への関心と相まって、観光、教育、防災など様々な観点から、桜島・錦江湾という世界に誇る地域資源の存在への注目や、ジオへの関心が高まりつつある。

桜島・錦江湾という世界に誇る地域資源の存在

+

ジオに関する動き（鹿児島）

2012年3月 霧島錦江湾国立公園の誕生

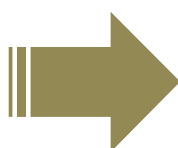
2013年7月 IAVCEI 2013の開催

2014年1月 大正噴火100周年

+

ジオに関する動き（全国）

東日本大震災以降、高まる地球活動への関心



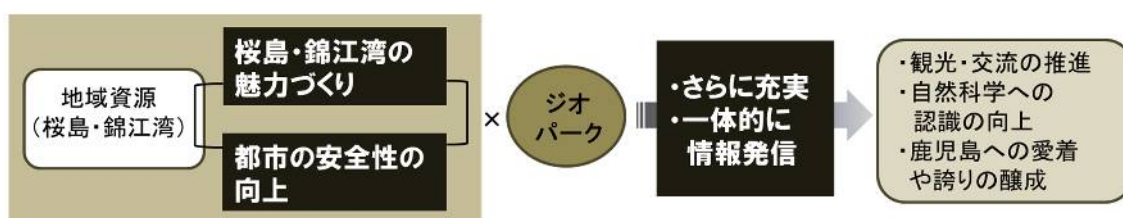
・桜島・錦江湾への注目の高まり
・ジオへの関心の高まり

2 ジオパークを目指す目的・理由、意義

(1) 目的・理由

これまで、桜島・錦江湾の魅力づくりや、活火山と共生する都市としての安全性の向上に取り組んできたが、新たにジオパーク認定・活動を推進することにより、これらの取組をさらに充実させ、国内外に一体的に情報発信していくことを通じて、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進や、自然科学への認識の向上、鹿児島への愛着や誇りの醸成を図ることを目的とする。

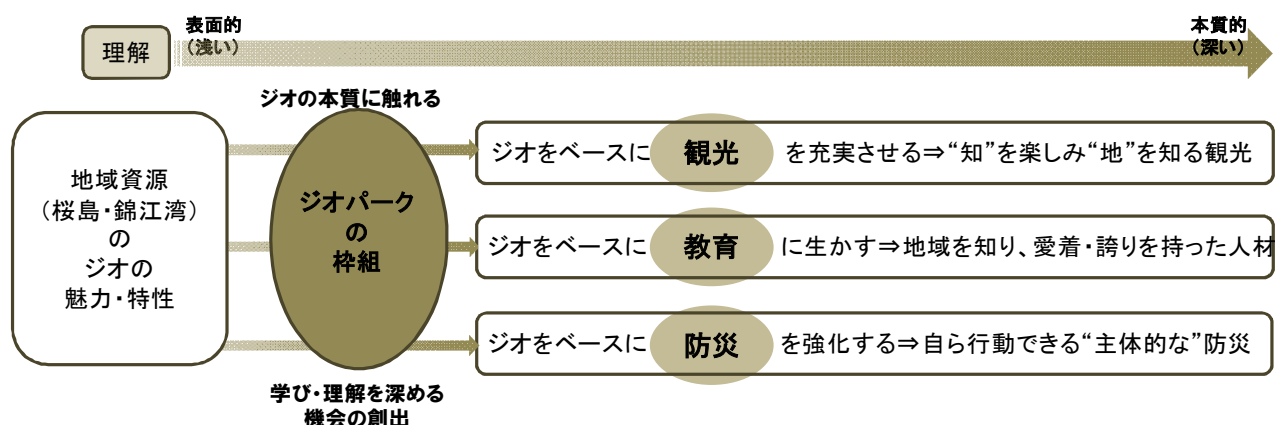
そのために、世界に誇る地域資源である「桜島・錦江湾」について、ジオパークとして、あらためてそのジオの魅力・特性を整理し、ジオパークのテーマやストーリー、見所である「ジオサイト」などとして取りまとめ、それらを活用したツアーやイベントなど「ジオに関する活動」を展開するとともに、積極的に「情報発信」していくものである。



(2) 意義

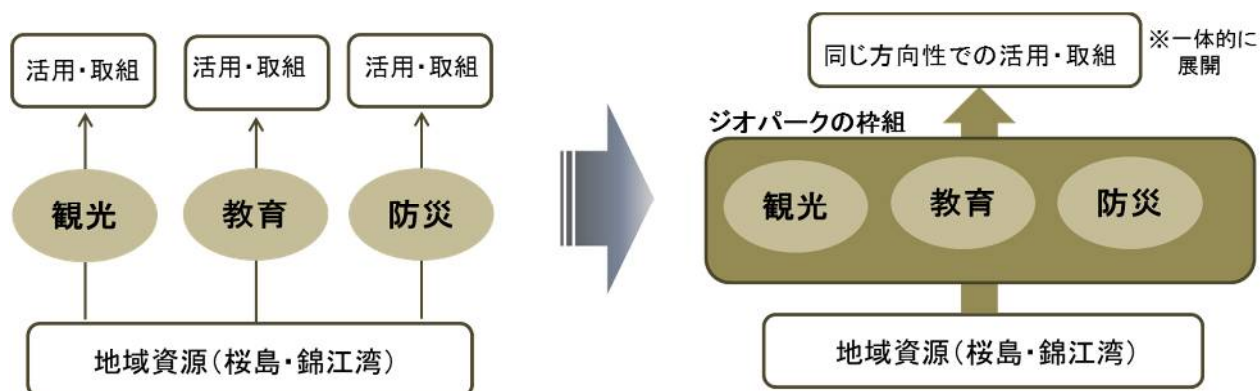
① ジオの魅力・特性への理解を深め、これまでの取組を深化させることができる！

これまで、その存在が身近すぎて表面的な理解に留まることも多かった桜島・錦江湾の、成り立ちを含むジオの魅力・特性について、ジオパークの枠組を通して、あらためてその本質に触れ、学べる機会を増やし、理解を深めていくことによって、観光、教育、防災など各分野における取組を深化させることができる。



② 同じ方向性での活用・取組を一体的に展開することができる！

各分野や各主体ごとに取り組まれることが多かった、桜島・錦江湾の地域資源としての活用・取組について、ジオパークの枠組を通して、分野や主体を超えて横断的に取り組んでいくことによって、桜島・錦江湾の本質を踏まえた上で共生していくといった同じ方向性での活用・取組を一体的に展開することができる。

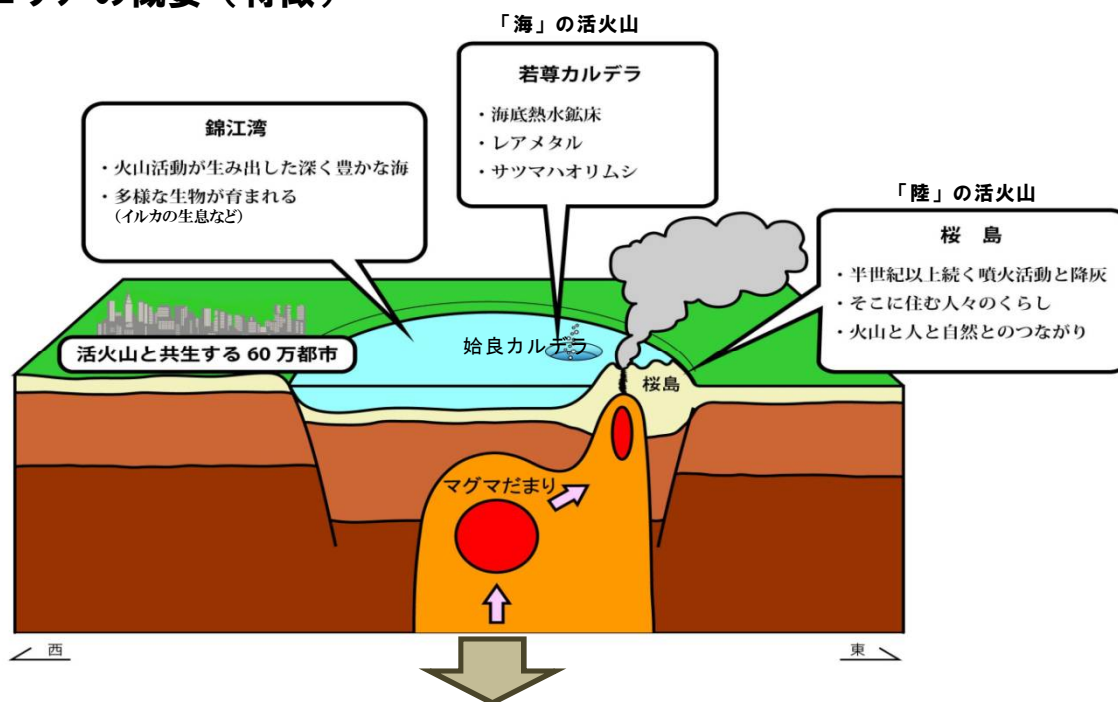


3 対象とするエリア



- ◆桜島や若尊カルデラを中心にそれらの周辺を円形状に囲んだエリア（鹿児島市域外を除く）
- ◆このようなエリアが、当ジオパークの特徴を的確に表現し、地域の内外へも伝えやすいという考えから設定
- ◆ジオパーク活動は、すべての鹿児島市民を対象に展開していく
- ◆このエリアに限らず、その周辺に位置し、同ジオパークに関連するジオ資源についても活用を図る

4 エリアの概要（特徴）



「火山の大地」を日常的に体感できる場

- ★半世紀以上（60 年近く）噴煙を上げ続ける活火山と 60 万都市
⇒「世界的に稀有な『活火山との共生』」
- ★「『陸』と『海』2つの活火山」と「火山活動が生み出した深く豊かな海」
⇒「ジオ多様性をコンパクトに体感できる空間」

5 テーマ

火山と人と自然のつながり ～海まで広がる活火山の営みと都市の共存～

鹿児島は 300 万年ほど前から巨大噴火を繰り返してきた活発な火山地域であり、その活動に伴って錦江湾が形成されたと考えられる。なかでも約 29,000 年前の始良カルデラの噴火は、南九州一帯にシラス台地を形成し、現在の鹿児島の地形、産業、人々の生活などに大きな影響を与えている。

始良カルデラの南縁に位置する桜島火山は、今から約 26,000 年前に誕生し、これまでに 17 回の噴火を繰り返してきた。現在も活発な噴火活動が続け、半世紀以上にわたり周辺に火山灰を降らせている世界的にも極めて珍しい火山である。

桜島は、噴火のたびに地形を変え、人や自然に大きな影響を与えてきた。現在の桜島を構成する要素、例えば、多様な地形、そこに生息する生き物たち、それらと共存しながら火山の麓で生活する人々など、全ての要素がこれまでの火山活動と様々な「つながり」を持っている。

そこで、桜島・錦江湾ジオパークでは、火山が自然、歴史、文化、産業等に、時間と空間を超えて影響を与え、そしてつながっている点に注目し、『火山と人と自然のつながり』をメインテーマとする。

その中で、このジオパークの最大の特徴は、60 年近くにわたり活発な噴火活動が続ける桜島の目の前に 60 万都市があることであり、そこでは噴煙を上げ続ける活火山を日常としながら、日本最高レベルの火山観測体制の構築や具体的な避難計画の作成、関係機関が一体となり長年実施してきている防災訓練など、充実した防災対策を講じる中で、これだけ多くの人々が生活を続け発展してきたという、「世界的に稀有な『活火山との共生』」が実現している。

また、エリア内には、桜島、そして水深 200m 以上の海底で日常的に火山性熱水噴気活動（たぎり）を続ける若尊カルデラという、「陸」と「海」の 2 つの活火山が存在し、火山活動が生み出した深く豊かな海・錦江湾と相まって、雄大で魅力的な地形景観を有した、「ジオ多様性をコンパクトに体感できる空間」であることも大きな特徴である。

このように活火山の影響が海と都市にまで及び、「火山の大地」を日常的に体感できる世界的にも極めて珍しい場であることを踏まえ、『海まで広がる活火山の営みと都市の共存』をサブテーマとする。

6 ストーリー

- ◆「テーマ」をより魅力的なものとして分かりやすく伝えるため 6 つのストーリーを作成。ジオサイト（見所）やその他のジオ資源を単なる羅列ではなく、テーマに沿った“物語”として住民や観光客に語っていく役割を担うもの。

	ストーリー	概要	【参考】主要ジオサイト
1	火山がつくった地形と地質	- 鹿児島では 300 万年ほど前から活発な火山活動が繰り返されている。 - 火山活動はカルデラ、シラス台地、桜島（溶岩地形と扇状地）などをつくった。	1 桜島ビジターセンター 2 湯之平展望所 3 黒神ビュースポット 4 新島 5 寺山公園

	ストーリー	概 要	【参考】主要ジオサイト
2	火山と自然の つながり	- 火山活動によって地表は火砕流や溶岩で覆われ、生き物は壊滅的なダメージを受けた。 - しかし、火砕流や溶岩の上にも植物が生え、長い時間をかけて森ができていく。 - 桜島は植生遷移を観察できる貴重な場所。	6 烏島展望所 7 有村溶岩展望所 8 桜島口
3	火山と海の つながり	- 錦江湾も火山活動によってできた地形（カルデラによる深い海）。 - 現在でも熱水を噴出し、サツマハオリムシなどの珍しい生き物がいる。 - 深い内湾である錦江湾は、多様な生き物を育む豊かな海となった。	9 溶岩なぎさ遊歩道 10 たぎり
4	火山と産業の つながり	- 火山活動によってつくられた土地や海は人々に恵みを与えている。 - 水はけの良い土地は農業に適し、桜島大根や桜島小みかんなどの特産品を生んだ。 - 波静かな内湾である錦江湾は養殖に適している。 - シラスを原料とした製品開発や、地形景観や温泉等を生かした観光振興など、2次・3次産業の振興にもつながっている。	11 桜島小みかんの畑 12 桜島大根の畑 13 市電軌道敷緑化
5	火山と歴史・ 文化のつながり	- 火山活動がつくった地形や地質は人間の歴史に大きな影響を与えた。 - シラス台地は畑、牧場、城などに利用され、溶結凝灰岩や溶岩は石材として活用された。 - 桜島の存在は鹿児島市民の精神文化にも多大な影響を与えてきた。	14 城山 15 仙巖園 16 石橋記念公園・ 石橋記念館 17 月読神社
6	火山と人の つながり (防災・火山と の共存)	- 過去における桜島の火山災害の状況は埋没鳥居や爆発記念碑などから読み取れる。 - 火山災害により移住を余儀なくされても桜島を想って暮らしていた（移住集落）。 - 災害の教訓をもとに様々な防災のための取り組みが進められている。 - 今も火山灰が降り続く環境ではあるが、人々は火山と共に暮らしている。	18 東桜島小学校 爆発記念碑 19 黒神埋没鳥居 20 原五社神社

7 主要ジオサイト

◆テーマ、ストーリーを踏まえ、このジオパークの主要ジオサイトとして、下記の20カ所を選定
※その他のジオサイト候補及びジオ資源についても、今後のジオパーク活動において適宜活用していくべき貴重な資源として取扱うものとする

	ジオサイト名	概 要
1	桜島ビジターセンター	桜島の噴火の歴史や植生遷移などを紹介する施設。200 インチのハイビジョンシアターでは桜島の紹介ビデオを上映。桜島観光案内も行っている。ジオパークの拠点施設。
2	湯之平展望所	火山の山肌の様子が最もよく分かる場所。侵食による谷地形や流れ出した土石流、土石流により形成された扇状地やそこに残る考古遺跡など、数々のエピソードが隠されている。桜島随一のビュースポット。
3	黒神ビュースポット（昭和溶岩地帯展望所）	退避壕の上に作られた展望スペース。昭和溶岩や昭和火口の観察に最も適しているビュースポット。砂防施設も見学できる。
4	新島（しんじま）	安永噴火（江戸時代）により海底が隆起してできた島。周辺の島々は溶岩が直接出てきたもの。新島には約 5000 年前（縄文時代）の貝化石層もあり、手で触ることもできる。
5	寺山公園	桜島や始良カルデラ（錦江湾奥部）を観察できるビュースポット。桜島の北西斜面に発達する火山麓扇状地も観察できる。
6	烏島展望所	かつて海の上にあった小島である烏島が大正溶岩によって埋め尽くされた場所。周りの大正溶岩原を観察するのに絶好の場所。
7	有村溶岩展望所	大正溶岩、昭和溶岩が観察できるビュースポット。両者の植生の違いが観察できる。そのほか、咲花平の溶岩ドームや、シラス台地も観察できる。
8	桜島口	大正溶岩によって陸続きになった場所。大正溶岩と大隅半島では植生が全く違うことが分かる。溶岩で埋もれた瀬戸の集落は、幕末に日本で最初の本格的な西洋式の軍艦「昇平丸」が建造された場所。
9	溶岩なぎさ遊歩道	全長 3km の溶岩遊歩道。大正溶岩とその上に生える植生を観察できる。海岸付近から海底では地下水の湧水があり、一部は汽水域となっている。このため絶滅危惧種のハクセンシオマネキが生息している。 また、周辺や遊歩道沿いには桜島ゆかりの句碑や文学碑が数多く点在。
10	たぎり（火山性熱水噴気活動）	若尊カルデラからの火山ガスが海面に現れている貴重な場所。地元の漁師の間では「たぎり」と呼ばれている。海底に火山が存在することが実感できるスポット。 サツマハオリムシ生息地（世界で最も浅い水深）、熱水噴出孔（チムニー）、レアメタル（アンチモン等）、酸性水塊の海（世界で 3 カ所のみ確認）。
11	桜島小みかんの畑	扇状地で水はけがよく、おいしい柑橘類が育つ。桜島小みかんは土石流によって形成された火山麓扇状地の恵み。

	ジオサイト名	概 要
12	桜島大根の畑	世界一大きい大根としてギネス登録されている桜島大根の畑。ギネス記録は31.1kg。軽石まじりの荒れ地のような土が特徴的。
13	市電軌道敷緑化	ヒートアイランド現象の緩和や潤いのある都市空間を創出する市電軌道敷緑化（総延長 8.9km 約 30,000 m ² の芝生緑地）。シラスを画期的な方法でコンクリートブロック化した、保水性と断熱性及び耐圧機能に特徴のある「シラス緑化基盤」などにより実現。
14	城山	展望所は、桜島を観察することができるビュースポットで、桜島の代表的な風景といえば、当展望所からの眺めが最も有名。また、シラス台地をそのまま城として利用した全国的に珍しい事例である。
15	仙巖園	島津家別邸。桜島を借景とする日本庭園が特徴。桜島が鹿児島島に住む人々へ与えた精神的影響も感じることができる。
16	石橋記念公園・石橋記念館	江戸末期に岩永三五郎によって架けられた「甲突川の五石橋」のうち、流失した2橋を除く3橋（西田橋、高麗橋、玉江橋）を移設復元している。公園内の石橋記念館では五石橋の歴史や架橋技術などについて展示しており、石の文化を象徴する施設。
17	月読神社	月読神社は大正溶岩で埋もれてしまったが、昭和15年に現在地へ再建された。桜島の中で最も大きい神社。
18	東桜島小学校爆発記念碑	大正噴火の前兆現象と災害の様子、噴火への備えが刻まれた石碑。「住民は理論に信頼せず」のフレーズが有名。科学不信の碑とも言われる。
19	黒神埋没鳥居	大正噴火によって約2m埋没した鳥居。噴火の凄さを体感できる場所である。奥には社殿があり、周辺の森は桜島で最も古い森。大正噴火で2m埋もれたが、その後復活したシイの木の生態は非常に面白い。
20	原五社神社	上之原（吉野町）は安永噴火で黒神村の人々が移住してきた地域。この神社は、黒神の腹五社神社を勧請したと言われる。石碑に当時の苦勞が分かる碑文が刻まれている。

【ジオパーク関連施設】

施 設 名	概 要
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学に保管されている貴重な学術資料を展示する博物館。桜島の「薩摩テフラ」の地層の剥ぎ取り資料が保存・展示されている。
桜島国際火山砂防センター	砂防について学べる展示施設。周辺には、桜島で最も土石流が発生する野尻川がある。目の前には、土石流について書かれたエッセー「崩れ」の著者・幸田文の文学碑もある。
鹿児島県立博物館	桜島大正噴火の記録を残すために設立された博物館。周辺には旧考古資料館や爆発記念碑もあり、桜島との関わりが深く関連の展示も充実している。
鹿児島市立科学館	桜島に関する充実した展示もある科学館。ここでは、マグマの上昇の様子などが展示されており、火山のメカニズムを知る上で良い。
かごしま水族館	若尊カルデラから噴出する火山ガス（たぎり）の周辺に生息するサツマハオリムシの生態等を見学することができる。

8 事業の展開

ジオに関する活動の展開

◆ジオツアー、ガイド講座、セミナー等の開催等

- ：ジオツアー ⇒ テーマ、ストーリーに沿って主要ジオサイト等を巡るツアーの実施 など
- ：ジオガイド講座 ⇒ ジオツアーのガイドを育成する講座の開催 など
- ：セミナー等 ⇒ セミナーやワークショップ等の開催（市民が、地形・地質などの成り立ち、ジオパークの概要等を学ぶ機会の創出） など

[取組イメージ]

- ・市民へ伝えるための取組
市民向けジオ講座、ジオガイド養成、ジオツーリズム体験 など
- ・地域のこどもたちへ伝えるための取組
副読本、DVD 教材、桜島体験学習のカリキュラム化、教員向け講座、こどもガイドの育成と活躍の場の提供 など
- ・住民参画の取組
地域再発見やモデルコースづくりのワークショップ など

◆その他

- ：ジオパークに関する調査・研究、ジオ関連商品の開発検討 など

[取組イメージ]

- ・調査研究の取組
市民向けアンケート、観光客向けアンケート
関係機関がジオの視点で研究を進め活動に活かす など
- ・関連機関の積極的なジオ活動の取組
ジオサイト及び関連施設等でジオ関連の展示を行う など
- ・ジオ商品開発と地域特産品の販売促進の取組
ジオ関連商品開発、PR、販路拡大、ブランディング など

情報発信

◆チラシ、パンフレット、ポスター、パネルなどの各種広報用のツール作成、他都市等でのプロモーション活動 など

[取組イメージ]

- ・広報、雰囲気演出のための取組
桜島フェリーターミナル（鹿児島港・桜島港）、桜島フェリー（船内）、鹿児島中央駅等交通結節点における、各種広報ツールの提示 など
- ・プロモーションの取組
マスコミとの連携や SNS の活用、キャンペーン、ブランディング など

ジオサイトの環境整備

◆主要ジオサイトの説明板設置 など